

文献紹介

インターネット

ウェブに跋扈（ばっこ）する怪獣や昆虫たち
（フォリオの窓5）

ほすびたるらいぶらりあん. 2000 ; 25 (1) : 61-62.
小田中徹也

シリーズ「フォリオの窓」の5回目。今回は、フォリオのウェブマスターである、小田中徹也氏（国立京都病院図書室）による執筆。1～4が、フォリオの内容に直接関連する実用的な話題であったのに対し、今回は「ウェブ」というものに視点を置き、インターネットの世界についてユニークな切り口で語られている。

医学図書館

National Network of Libraries of Medicine
（NN/LM）：アメリカの医学図書館ネットワーク（報告）

医学図書館. 1999 ; 46 (4) : 435-441.

大瀧礼二

アメリカにおける医療従事者の情報収集活動の支援を目的とした、NN/LM と呼ばれる医学図書館のネットワークシステムについて紹介、解説し、このような情報環境がわが国にも望まれると結んでいる。

看護管理者からの期待（21世紀へ向けての医学図書館／利用者からの声）

医学図書館. 1999 ; 46 (4) : 389-391.

井部俊子

病院職員の約半数を占める看護職員に対する知的支援の重要性を訴え、知の管理を行う「知識担当役員」としての図書館司書への期待を述べている。

国立医学図書館の必要性（21世紀へ向けての医学図書館）

医学図書館. 1999 ; 46 (4) : 381-384.

金澤一郎

現在の日本の医学図書館が抱えるさまざまな問題について述べ、米国のような国立の医学図書館の設立が唯一の打開策であり、実現に努力しなければならないと提言している。

電子ジャーナルの行方と医学図書館（21世紀へ向けての医学図書館）

医学図書館. 1999 ; 46 (4) : 366-372.

長塚隆

昨今の医学分野における研究情報の流通の現状、電子ジャーナルの現状と将来的な方向、研究情報のオンライン化による医学図書館への影響などについて解説している。

僻地診療所に負けない情報環境を！（21世紀へ向けての医学図書館／利用者からの声）

医学図書館. 1999 ; 46 (4) : 387-388.

名郷直樹

医師として利用者の立場から、今後の医学図書館に望むいくつかの提案と希望を述べている。「医学図書館はつまるところ患者さんのためにある」という言葉が明快。

図書館員の専門性

図書館七不思議

情報の科学と技術. 2000 ; 50 (5) : 314-320.

井上如

図書館員ならば、誰もが「そうそう」と思わずうなずいてしまうような、けれどもあえて口に出しては言わない、というような本音を交えて、図書館員と図書館に関する「七不思議」が、

文献紹介

ずばずばと鋭く指摘されている。「おもしろい」という点でオススメである。

韓国における司書職制度の最近の状況
図書館雑誌. 2000 ; 94 (3) : 177-179.

洪順永

情報評価こそ図書館員の大事な社会的役割
図書館雑誌. 2000 ; 94 (3) : 144.

山崎久道

インターネット時代における情報管理への図書館員の関わりを述べている。

Librarians, clinicians, evidence-based medicine, and the division of labor

Bull Med Licr Assoc. 1999 ; 87 (4) : 404-407.

Holten EA

ネットワーク環境の変化によりエンドユーザーサーチが進む中で、図書館員に必要な専門性について述べている。

患者サービス

スウェーデンの病院患者図書館最新情報
—教育・文化・医療情報提供サービス

図書館雑誌. 2000 ; 94 (4) : 253-255.

菊池佑

スウェーデンの病院患者図書館10施設の見学記。ボランティアを導入せず、司書と看護婦、薬剤師等の病院職員による運営が特徴である。

病院図書室における患者サービス（これからの病院図書室14）

日本病院会雑誌. 1999 ; 46 (12) : 1979-1985.

山室真知子

病院図書室における患者サービスに取り組む際の、心構えや、サービスの形態、内容、具体

的な手順などについてのガイドがなされている。また、患者への医学情報の提供の問題についても、著者の意見を交えながら、ふれられている。

著作権

デジタル情報時代と著作権—電子図書館の21世紀的運用で著作権の実態化を—

図書館雑誌. 2000 ; 94 (3) : 196-199.

細井五

利用指導

特集・図書館の利用教育をどう進めるか

図書館雑誌. 2000 ; 94 (3) : 154-169.

担当者教育と利用者教育（これからの病院図書室13）

日本病院会雑誌. 1999 ; 46 (11) : 1847-1855.

田引淳子

医療情報を扱う病院図書室においては、担当者・利用者共に専門的な知識が不可欠であると述べられている。また、その知識の修得のために必要な、資格・カリキュラム・教育プログラムなどが詳しく例を挙げて紹介されている。

■文献の入手は、所蔵館へお申し込みください。

■「情報の科学と技術」・「Bulletin of Medical Library of Association」は協議会で購読しています。

■興味のある文献を分かち合いましょう。参考になる文献がございましたら、会誌編集部までお知らせください。